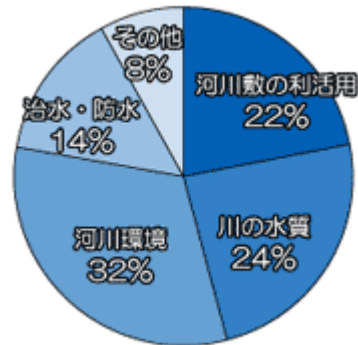


第1回 相模川ふれあい懇談会 アンケート結果

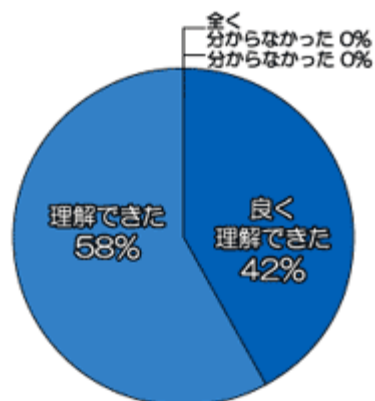
Q1. 相模川のどのような情報に興味や関心がありますか？(複数回答可)



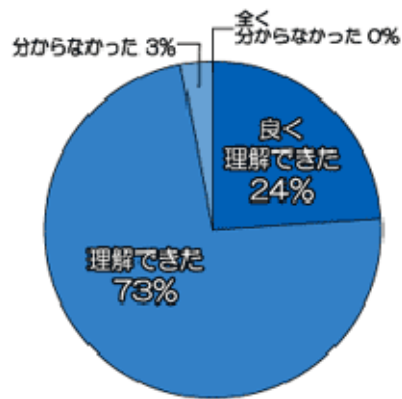
*「その他」の主要な意見

河川事業の予算規模や管理への住民参加、利用上の規制や美化活動、河川水量等に関心があるとのことご意見が寄せられました。

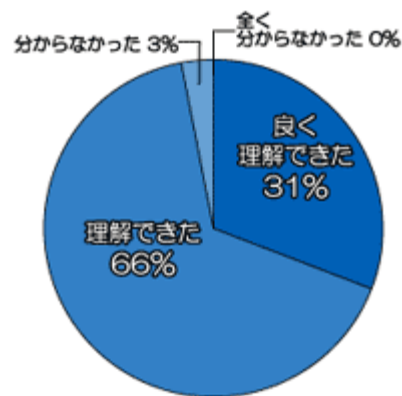
Q2. ふれあい懇談会の趣旨は理解できましたか？



Q3. 「相模川ふれあい懇談会の進め方とルール」の説明について理解できましたか？



Q4. 「相模川の紹介」の説明について理解できましたか？



Q5. 今回のふれあい懇談会についてや、今後のふれあい懇談会で話題にしたいこと等あればお書きください。

* 頂いたご意見の概要を、カテゴリー別にまとめました。

1. 利水関係

- ・ 水道の水源としての相模川のあり方について。

2. 環境関係

- ・相模川の生物相に関する情報の一元化や生態系の保全・復元策について。
- ・土砂動態や中州の除去、樹林化の抑制等について。
- ・湿地環境、湧水環境について。

3. 河川利用関係

- ・堤外民地における所有者の土地利用のあり方について。
- ・スポーツ広場と多自然川づくり等の利用の調整、県外客の誘致を目指した景観スポットの形成について。
- ・河川敷の利用、美化について。

4. 維持管理関係

- ・不法投棄の実態も含めた空間利用や、不法投棄をさせない維持管理、関係者間の連携、役割分担等について。

5. 進め方等

- ・今後懇談会を進めるにあたってのスケジュールについて。
- ・地域の個性を重視したビジョンづくり、流域市町村の計画との整合、利水者や漁協等の日常的な利用者との関係等について。
- ・ワークショップを開催したり、一般市民が参加しやすい会への誘導等が必要と思われる。
- ・どんな河川を目指すのか発言する時間を多くしてほしい。

Q6. そのほか御意見等あればお書きください。

* 頂いたご意見の概要を、カテゴリ一別にまとめました。

1. 環境関係

- ・ 川に限定せず、周辺の水田、道路、森の保全等、広域での保全を検討すべき。

2. 利用関係

- ・ スポーツ広場やコンクリート護岸等、人工的な施設が多すぎる。

3. 懇談会の進め方

- ・ 懇談会のあり方や進め方を見直し、より多くの市民や団体の参加を促す。また幅広い意見交換が出来る場としてもらいたい。
- ・ より多くの市民に参加(傍聴)してもらいたいとの意見に加え、言いっぱなしになったり特定の間(または特定の市民団体)だけが発言したりすることのないよう、テーマを絞ったり開催時間をあまり長くしない等の配慮が必要である。
- ・ 会場をその都度変えることで地元の方々の意見が聞けるといった意見や、現地見学会があると理解しやすい。
- ・ 課題の抽出、分類方法を工夫する必要がある。

4. その他

- ・ 専門用語には、解説をつけてもらいたい。
- ・ 会議に参加して、改めて相模川について理解した。

参加者の傾向について

第1回相模川ふれあい懇談会の参加者(名簿記名数)は51人でした。
参加者の傾向は以下のとおりです。

